

3月11日、東日本大震災から15年が経ちました。

この日を迎えるにあたり、被災された方々やご家族に深く思いを寄せ、哀悼の意を表します。

本日は2月12日に開催した第2回知財マネジメントセミナーについてご報告させていただきます。

❧テーマ：第2回知財マネジメントセミナーの実施報告❧

令和8年2月12日（木）、第2回知財マネジメントセミナーをZoom Webinar（オンライン）で開催し、公的研究機関の職員をはじめ農林水産研究の知財管理に携わる114名の皆様にご参加いただきました。ご参加くださった皆様に厚く御礼申し上げます。

事後アンケートでは96%の方が「大変参考になった」「参考になった」と回答され、“次回セミナー開催も参加したい”とのコメントも寄せられました。今回のメルマガでは、セミナーの報告をします。

・開催概要:<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/chizai/event.html>

(1) プログラム1 講演：海外展開の検討前に知財観点で留意すべきポイント

海外から開発品種などの技術に引き合いがあった際に、的確な判断と対応ができるよう、知財・契約の観点で押さえるべきポイントを、現場で使えるアドバイスとともに提示しました。

仮想ケースを用いて、①提供可能な技術・品種の棚卸、②対象国での権利確保、③相手方・スキーム・流通管理の設計という3ステージそれぞれにおける留意点を整理するとともに、ライセンス契約の勘所や、組織横断の意思決定の重要性についても解説しました。

事後アンケートでは、「海外展開を検討しており、留意点が段階的に示され、何を確認すべきかが具体的に分かった。海外での品種登録の意義や、相手方の信頼性の重要性も理解できた」との声が多数寄せられました。

一方で「テーマに対して講演時間が足りなかった」とのご意見もいただいております。今後のセミナー設計に活かすとともに、来年度の個別ネットワーク活動のテーマとしての組み込みも検討してまいります。

(2) プログラム2 公的研究機関のお悩みサポート事例ダイジェスト

本年度の個別ネットワーク活動で公的研究機関から多く寄せられた課題について、参加者が抱える実務上の悩みや具体事例に弁護士による解説を織り交ぜてダイジェスト形式でご報告しました。具体的には、共同研究などの契約書のひな形の見直すポイントや営業秘密（ノウハウ）について説明いたしました。

またネットワーク活動内容と合わせて、参加して得た気づきや他団体との横のつながりの重要性についても話題提供しました。個別ネットワークに参加した機関の担当者からは「知財の基礎知識の習得が、

実務に直結することを実感した」「他機関と情報共有ができ、今後の業務に参考になった」というコメントをいただきました。

本活動について関心をもっていただいた方は、是非来年度の参加を検討いただけますと幸甚です。

事後アンケートでは、来年度事業で参加してみたい個別ネットワークのテーマや新しく取り上げてほしいテーマについても多数のご意見をいただきましたので、来年度のテーマ選定や運営の参考にさせていただきます。

•—————° ❁ °—————•

< 次回の配信予定 >

テーマ：個別ネットワークの振り返りと今後

配信時期：3月25日頃

< メルマガのバックナンバー >

下記HPよりこれまで配信された全てのメルマガをご覧ください。

ぜひ、気になる情報をチェックしてください。

URL:<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/chizai/mailmagazine.html>

※メールマガジン記事の無断複製、無断転載を禁じます。